

第5学年 図画工作科学習指導案

1 「ゲートからゴールへ～アドベンチャーストーリー」（工作に表す）

2 本題材について

本題材は、ボールがいろんなゲートを通り抜けて、ゴールをするまでのコースを身の回りのいろいろな材料を組み合わせて、工夫してつくるものである。子どもたちにとって、ボールをどのように通らせるか、またどのようにゴールするか考えることは題材の持つゲーム性やテーマ性・ストーリー性と相まって、いろいろな発想を促す可能性を秘めた魅力ある題材である。限られた材料で試作することやストーリーを考えさせることで、子どもたちは自分のコースに合った材料やコースの工夫を考え表現していくだろう。また、材料の特性に応じた組み合わせ方や接着方法などについて試行錯誤を繰り返しながら、コースをつくるので、より自分の思いに近づけたり、工夫の見直しをしたりできる。コースづくりでは、自分や友だちの作品を自由に組み合わせることも可能で、その中で作品のよさやおもしろさを感じることもできる好題材である。

3 本題材の目標

- 身の回りにあるものから、自分がつくりたいもののイメージに合わせて積極的に材料を集め、新たな発想や表し方に取り組もうとしている。 （造形への関心・意欲・態度）
- テーマに合ったゲートやゴールを自分なりに発想し、さらにおもしろさや楽しさ、美しさを構想しようとしている。 （発想や構想の能力）
- 材料の特性を生かして、組み合わせや接着の仕方などを工夫してつくっている。 （創造的な技能）
- 自分や友だちの作品で遊ぶことで、作品のよさやおもしろさを味わっている。 （鑑賞の能力）

4 本題材の計画（7時間）

配時	2 (1/7時 ○組)	4 (3/7時○組・ 5/7○組)	1 (7/7時 ○組)
ねらい	ゲートやゴールのある簡単なコースをつくることで、活動への意欲と見通しをもち、自分の作品づくりのイメージを持つことができる。	自分が集めてきた材料を使って、自分の思いに合うように、材料の組み合わせや接着の工夫をしたりしながらつくることができる。	お互いの作品を楽しみながら遊ぶことを通して、自分や友だちの表現の違いやよさを味わうことができるようにする。
活動	であい	表現	鑑賞
学習活動の内容	1. 簡単なコースづくりをしながら、自分の作品づくりのイメージをもつ。 (1) 題材名と参考作品から、どのような活動をするのか知る。 (2) 限られた材料を使って、簡単なコースづくりをし、ゲートやゴールをいろいろつくって試してみる。 (3) 図工ノートに、表したいテーマやストーリー、おおよそのコースの計画や使ってみたい材料などをまとめる。 共通事項 ア イ	2. 材料の形や色、質感などの特徴を生かし、組み合わせや接着の仕方を工夫してつくる。 (1) 自分が集めてきた材料をいろいろ組み合わせゲートやゴールを試しながら自分のイメージに近づけていく。 (2) 接着の仕方をいろいろ工夫しながらつくる。 (3) 制作中の作品で遊びながら、よりよいものへと修正をしていく。 共通事項 ア イ	3. できた作品をみんなで一緒に楽しみながら、材料のよさを生かしている点や組み合わせのおもしろさやよさを見つける。 (1) 友だちの作品と組み合わせたコースで遊んでみて、作品のおもしろさやよさを実感する。 (2) 自分が気付いたよさを友だちに伝える。 共通事項 ア

第5学年〇組 図画工作科学習指導案(であいの活動)

指導者 〇〇 〇〇 5年〇組教室






5 本時の目標 (1/7)

- ゲートやゴールのある簡単なコースをつくることで、学習の見通しをもち、活動への意欲を高めることができる。(関心・意欲・態度)

6 本時学習のポイント

限られた材料(箱、ダンボールや、画用紙など)を組み合わせ、簡単なコースをつくることで、ゲートやゴールのイメージをつかんだり、ゲームの楽しさを見つけたりすることができるようにします。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 題材名と教師が作った簡単な参考作品から、どんな学習をするのか知り、学習の見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 掲示した題材名から「ゲート」や「ゴール」という言葉に着目させる。 ☆ 本時で子どもが使う材料と同じ材料でつくった、簡単なゲートとゴールを見せることで、どんな活動をするのかわかるようにする。 	<p>△ 今日の学習はどんなことがあるのか考えながら見ている。</p>  <p>ゲートとゴールをつかって、いろんなコースを考えるんだなあ。</p>
<p>めあて ゲートとゴールを工夫して、楽しいコースをつくろう。</p>		
2 限られた材料で、ゲートとゴールのある簡単なコースを、遊びながらつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ つくることに時間がかからないように、簡単な材料を用意し、それを組み合わせてコースをつくって、試す時間を確保する。 ☆ 子どもからの自発的な発想を促すために、要求があったときに、はさみやビニール等の道具や材料を出す。 ☆ 思うように発想が進まない子どもが、友だちの考えを自然に取り入れられるように、学習の場を、見通しのよい床にする。 ☆ 人とは違う発想をしている子どものやり方を声に出して、褒める。 	<p>◎◎ 簡単なゲートやゴールを組み合わせ、コースづくりをしたり、遊びながらいろんなやり方を試してみたりしている。</p>  <p>私は、ゲートからでたところを勢いがつくように坂道にしてみよう。</p>  <p>ゴールは、落とし穴みたいに落ちたらおもしろいから、穴をあけるカッターがほしいなあ。</p>  <p>ぼくは、ボールがトンネルや階段を通して、ゴールに飛び込むコースをつくったよ。</p>
3 今日の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。 (1) 自分の簡単なコースを紹介する。 (2) 次時の活動を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 次時の活動につなぐために、ゲートの通り方やゴールの仕方について出し合わせる。 ☆ コースにストーリー性を持たせることを告げ、次時への意欲につなぐ。 	<p>◎ 自分がどんなものをつくりたいか考えている</p>  <p>どんなお話にしようかなあ。</p>

○造形活動の姿 ◎ 思考判断している姿 △学習の構え

第5学年〇組 図画工作科学習指導案(表現の活動)

指導者 〇〇 〇〇 5年〇組教室





5 本時の目標 (3/7)

- 自分のストーリーに合わせて、材料の特性を生かし、組み合わせや接着の仕方を工夫してつくることができる。(創造的な技能)

6 本時学習のポイント

活動の始めに、自分のストーリーや集めた材料について班で交流し、自分が表したいことをより意識させることにより、その後の活動で、材料やその加工・組み合わせ方を工夫する姿が見られます。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 前時までの学習を振り返り、本時学習のめあてを確認する。	☆ 図工ノートを使って、自分のストーリーを班で交流させることで、自分が表したいことを意識化させる。	△ 図工ノートを見ながら、試しの活動を思い出している。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 自分のストーリーに合うように、材料を組み合わせたり、接着したりして楽しいゲートやゴールをつくらう。</p> </div>		
2 自分のストーリーに合わせて、材料の組み合わせや接着の工夫をしながらつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 接着の仕方を掲示し、必要に応じて子どもたちが材料に合わせた接着方法を考えることができるようにする。 ☆ 実際にボールを転がし試させながら、ゲートをつくらせる。 ☆ 机間巡視しながら工夫しているところを賞賛したり、つまづきに応じて助言したりする。 ☆ おもしろいゲートをつくっている子どもを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ストーリーに合わせて、集めた材料を組み合わせている。  色がきれいだから、このビニールテープを花畑にしようかな？  この針金は、宇宙をテーマにしたブラックホールで使えそうだなあ・・・ ◎ 材料に合わせて、接着方法を考えている。  なるほど！ペットボトルはゴム系接着剤でくっくんだね！
3 図工ノートで、本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自分のストーリーに合うように工夫したことを振り返らせる。 ☆ 次の時間の見通しをもたせるために、少人数での交流をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 今日めあてに沿って自分の活動を振り返っている。 ◎ 次の時間の見通しをたてることができている。  次は、ビニールを持ってきて海の中のようにしよう。

○造形活動の姿 ◎思考判断している姿 △学習の構え

第5学年〇組 図画工作科学習指導案(表現の活動)

指導者 ○○ ○○ 5年〇組教室

5 本時の目標 (5/7)






- 自分の作品で遊びながら、自分の作品を見直すことができる。

(発想や構想の能力)

6 本時学習のポイント

自分の作品で実際に遊んだ後に、小集団の交流を通して、友だちと自分の作品を比べたり、助言しあったりしながら、自分の思いが表れるように考え、つくっていきます。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 前時までの学習を振り返り、本時学習のめあてを確認する。	☆ 図工ノートをもとに今までの活動を思い出させる。	△ 今日の学習はどんなことがあるのか考えながら見ている。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて 自分の作品で遊びながら気付いたヒントをもとに、自分の作品をよりよくしよう。 </div>		
2 自分の作品で遊びながら、自分の思いが表れているか確認する。	☆ 机間巡視しながら工夫しているところを賞賛したりつまずきに応じて助言したりする。 ☆ 班の友だちとの交流を通して工夫のよさに気付かせる。 ☆ 子どもから材料を変えたいと相談を受けたときは、理由をたずね、必要に応じ材料置き場を紹介する。	○◎ 材料の並べ方や組み合わせ方を修正してつくっている。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> ぼくのテーマは〇〇なので、材料を変えてみようかな。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 〇〇さんを見ると、私の△△も◇◇にした方がよくなるかな。 </div>
3 自分の作品をグループの中で発表し交流する。	☆ イメージをふくらませあうために、付箋紙にアドバイスを記入させ、交換させる。 ☆ 次時の活動に生かすため付箋紙を図工ノートに張りつけさせる。 ☆ 交流の視点が明らかになるようにアドバイスの観点を与え、付箋紙も色分けしておく。	◎ 交流をしながら自分のイメージをさらにふくらませている。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> そうだ！次の時間に、〇〇を持ってこよう！。 </div>
4 自分や友だちの表現のよさに気付くために活動を振り返る。	☆ 今日のめあてにそって、自分の表したいことに近づけるために工夫したことを振り返るようにさせる。	◎ 今日のめあてに沿って自分の活動を振り返ることができている。 ◎ 友だちのよさ、自分のよさに気付いている。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> トンネルを透明にしようと思います。次は、ビニル袋を持ってこようと思います。 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どこをどのように工夫しようと思いましたか。次の時間に持ってくる物は何ですか。 </div> 		

○造形活動の姿 ◎思考判断している姿 △学習の構え

第5学年〇組 図画工作科学習指導案(鑑賞活動)

指導者〇〇 〇〇 多目的室




5 本時目標 (7/7)

- 自分や友だちの作品で遊びながら、表現の違いや工夫、よさに気付くことができる。(鑑賞の能力)

6 本時学習のポイント

「自分の思いを表すために、どのような材料を選択したか、材料の組み合わせ方の工夫をしたか。」という鑑賞の視点を持たせ、自分たちが作った作品をグループで組み合わせてコースをつくらせ、ゲームをさせることで、遊びながら友だちの作品のよさを十分に味わいます。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 前時の学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。	☆ 作品や図工ノートをもとに、自分の作品にこめられた思いや工夫を確認させる。	△ 自分が表したいことや工夫などを作品や図工ノートで確かめている。
めあて グループでコースづくりをしながら、友だちの作品の楽しさや工夫をたくさん見つけよう。		
2 グループでコースの用意をする	☆ 自分達のコースの題名や紹介カードを置かせて、作品を鑑賞する時の参考にさせる。	 玉のおもしろい動きがわかりやすいように、透明なペットボトルを使いました
3 他のグループのコースで遊びながら鑑賞をする。	☆ 本題材のめあてをふりかえらせて鑑賞の観点をはっきりとさせる ☆ 遊びだけに終わらないように作品に「鑑賞カード」をはらせていく。	◎ 友だちの作品の工夫やよいところについて、カードに書いている。 ◎ 遊びながら作品のよさについて友だちと話している。
  ダンボールのでこぼこを利用してボールが滑らない工夫がすごいよね。		
テープで波をつくってきれいな海がよくでているね		
4 本時の感想を書き発表する	☆ 材料の選び方や組み合わせ方、楽しかったところや丁寧さ、構成に工夫がみられる友だちの作品を紹介させる。 ☆ みんなの工夫したことを黒板に整理して単元のまとめをする。	△ 友だちのよさや工夫についてみんなに知らせようとしている。 ◎ 頷いたり、賛同しながら友だちの発表を聞いている。

○造形活動の姿 ◎思考判断している姿 △学習の構え